

行田まちあるき(その4)TEKUTEKU活動報告

日 時 ●2010年5月15日(土)、16日(日)11時~17時

企画概要● TEKUTEKUとしては3回目の「行田蔵めぐりまちあるき」です。主催のNPOぎょうだ足袋蔵ネットワークを支援しようと、TEKUTEKUメンバー、東京家政大学の学生さん、NPO川越きもの散歩の会員、建築学会埼玉支所幹事の皆さんなどに15,16のどちらか都合の良い日に参加いただきました。

開かれた16の蔵●1足袋蔵まちづくりミュージアム、2忠次郎、3牧禎舎、4足袋と暮らしの博物館、5武蔵野銀行行田支店、6足袋蔵ギャラリー一門、7大澤商店、8奥貫蔵、9イサミスクール工場、10十万石本店、11小川源右エ門蔵、12新町会館、13今津蔵、14新町ほっとステーション、15翠玉堂、16保泉蔵、

参加者 ●井手幸人、井上恵理子、大竹亮、鎌原史英、児玉彩、佐々木少子、世古りえこ、橋詰佳代、長谷川万里子、平野隆、藤井美登利、古里実、若林祥文、ほか

協力●NPOぎょうだ足袋蔵ネットワーク(朽木宏さん、中島洋一さん)

【参加者による評価】

(評価点の計算:とても良いA=5点、良いB=3点、普通C=1点、良くないD=1点とした平均値)

1 今回歩いた行田の町(中心街)全体について **AAAAAABBBBC--【3.9】**

A: 普段、閉ざされている蔵を開放することで、とっても魅力的な町に変身していて驚きました。麦茶のサービスやゼリーフライの販売など、住民が主体となって参加していたところが良かったです。活気溢れていて、地元住民なのに違う町に来たような錯覚に陥りました。

A: 蔵を活用したお店や樹木がたくさんあり、車社会とはいえ歩いても楽しめるヒューマンスケールのある素敵なまちだと思いました。

A: 話に聴いていた通り、蔵がたくさん密集していて、興味深かったです。

A: いたる所に蔵が残っていて驚きました。また、その蔵の作りもそれぞれ違ったりしておもしろかったです。

A: 今回4回目の参加ですが、年々街中を歩いていて違和感を感じなくなりました。最初の頃は奇異な物を見るような視線を感じたものですが・・・今年は参加の店舗が増え、汗をかきかきまわっているとお茶のサービスなどがうれしかったです。

A: 協賛店が増えていた事、協賛店でもなくても蔵があるお店の方に伺うと快く説明して下さった事、「地域(商店街)一丸となって！」的な雰囲気でもなくそれなりに自由で緩い感じで有った事(商店街と住宅地の距離が適度に有った事)、道など去年より綺麗になっていた事

B: 若者のパンやさんが開店していてすこし、にぎやかになった印象。時間がゆっくり流れるのんびりしたところも町の魅力のひとつ。無理に活性化しないほうが癒される。

B: 小さな街だが、表通りの商店街と、抜け道のような裏通りの対比が面白い。足袋蔵は、むしろ裏通りに多かったようなので、街に深みが出ている。

B: あまり変化は感じられなかった。

B: 歩いて楽しめる資源がある街だと思う。

C: イベントが実施されるときに歩くので、人が行きかっているのが普段の行田のまちの評価は難しいのですが、中心市街地は、昨年より空き地が多くなっていったような気がしました。一方、行田市駅から中心市街地に向かう道筋に木を活かした外壁が連続しつつあるのはとても印象

的でした。

2 蔵めぐりスタンプラリー2010(イベント)について AAAAAAABBBB—【4. 3】

A:3年連続で参加しているが、スタンプラリーに参加し、協賛するお店がふえて、すこしはなれた蔵まで歩いてもその近くのパンやさんが新しく協賛をはじめていると、うれしい。町の人意識がかわってきていることを感じる。人力車やレトロバスがこの町にぴったり。

A: 昨年の映像で街の歴史をたどるから、今年は音で街の文化度を示すといった志向(?)がとても魅力的でした。また、今回ボンネットバスで市街をぐるりと一周したのですが、街歩きではいけない行田の魅力的な空間(お城等)を見れてとても楽しかったです。

A: ふだん公開されていない蔵を開くことで、すばらしい蔵がまちなかにたくさんあったことがわかるし、蔵の持ち味も良く実感できる。蔵の中でのイベントも多彩で、毎年、工夫が見られて楽しい。

A: この蔵めぐりでは、スタンプを集めるのも楽しいし、普段は見れない蔵を見て回れるのも楽しかった。蔵ごとにいろいろな催し物がされていて、それもまた、楽しかったです。ボンネットバスで、歩いて行けない所まで、見れたのもよかったですと思います。

A: スタンプを集めながら回ることで、自然と入り組んだ道を歩けるのが良かったです。単にスタンプを集めて、景品を貰うというのではなく、どんな文になるのかなあとワクワクしながらスタンプを集められるところが楽しかったです。小さな子どもも楽しんでいたのが良かったです。十万石まんじゅうをもらえるのも嬉しいです。

A: スタンプラリーカードを首からさげた観光客らしきグループもたくさん歩いていたし、もてなす側としてイベントに参加している住民の方々の活気も感じました。

A: コースが決められていないので自由に動き回れる事、しかし、効率的なコース等自分で考えなくてはならなかった事(これが意外と楽しい)、日曜は家族参加が多かったです、親子でコースを相談する姿を見かけました。

B: 全体としてはよかったです、いつもよりもパワーが感じられなかった。今年は、物よりも人がよかったです。

B: 参加すると花がもらえるという特典が、個人的にとてもうれしかったです。しかし花に興味が無い人には、あまり魅力的に映らないかもしれません。スタンプラリーにすると、参加者がすべて廻ろうという気になるという点でも良いと思います。

B: 楽しいのですが、毎年同じなのであえてBにさせていただきます。というのも、先日川越でのスタンプラリーに参加し違いを感じたのです。川越のスタンプラリーではあらかじめ各場所(ポイント)の建物を説明した上で、その場所にいけばすぐにわかるようなクイズ形式になっていました。子供さんや家族づれは結構楽しんでいたようですし、単にスタンプを押すより建物を眺めたり探したりするので印象に残りました。

B: 昨年より参加者が少ない気がした。しかし、お店の参加が増えているように思う。蔵を地元の活動の発表の場としていたのは好感がもてる。

3 特に印象に残った場所+コメント(いくつでも)

○いさみスクール工場:こんな建物よそにはありません。神社の裏の雰囲気といい、風情がある。



○カフェ閑居:センスがよく埼玉で一番お気に入りのカフェ・ロールケーキも美味しい
○閑居:静かだった。美味しかった。



○足袋と暮らしの博物館:木の床、ふるいミシン、た
びのラベル、懐かしい木造小学校のようで、職人さん
の仕事をみながらずっといたくなる場所
○足袋と暮らしの博物館:実際に足袋を作っている所
を見れて、面白いと感じました。また、中に入って近い
位置から見れたのが良かったと思いました。



○牧禎舎: 箏曲の演奏が良かった。特に「荒城の月」には(豊後竹田の岡城を思い出して)涙した。

○牧てい舎: 音曲と藍染めの説明。

○ 牧禎舎: 藍染めはもっとやりたかったです。

○忠治郎蔵: 津軽三味線、

○ボンネットバス: バスガイドさんが乗っていたが、説明も良かった。

○ボンネットバス: バスガイドさんの案内が素晴らしい。市街地の外周を短時間で巡るコースは街中のスタンプラリーで歩きこととセットで行田の街を短時間に理解できる。

○ボンネットバス: これに載って市内をぐるぐる回ると、楽しい気分になる。



○まちづくりミュージアム: 説明も良かった。

○猫道(時田蔵のわきの道): 建物と建物の猫道の案内板は感動しました。猫になったような気分で狭い空間を抜けてあるくもう一つの地図があってもいいかもしれないですね。

○今津蔵、大澤蔵: 地元住民にとっては、今津蔵と大澤蔵には驚きました。とても素敵でした。今津蔵で琴の演奏を聴きながら麦茶を飲んだのが印象に残っています。歩道に椅子を並べて観客席にしまう発想は、普段は考えられない光景で面白かったです。ちょうど木があつて、木陰になっていて、そこで琴の演奏を聴きながら麦茶を飲むというのには、都会では味わえない行田らしさを感じました。大澤蔵も、普段は謎の蔵だなと感じていました。それだけに、中を見学させていただいて、とても感動しました。蔵の中も、レンガ造りのおしゃれな外観に合っ

ていて素敵な雰囲気を出していました。バーにする計画も面白いと思います。

○今津印刷所: 毎回すみませんが、スターダストレビュー情報を今回はこちらの方から色々入



手させていただきました。個人的に中継ポイントでした。

○今津印刷所: 琴演奏を歩道側から見せるのはグッドアイデア。おばあちゃんの手配力あふれるお茶の接待もうれしい。

○翠玉堂と今津蔵: 古い建物の良さをそのままに残し、パン屋や作家さんのギャラリーに活用されているところがとても良いなと思いました。

○翠玉堂: 店内の雰囲気落ち着いていて居心地の良いパン屋さんだと感じました。また、店がまえも蔵を活かしていて素敵だと感じました。

○ デットストックの瀬戸物屋さん……: レトロですが素敵で購入しました。



○足袋蔵ほっとステーション: 今年新しく開かれた石蔵。内部のアート作品もセンスがいい。

○ほっとステーションの陶芸家の方と翠玉堂さん: 蔵はそれぞれの味わい深さがあり、複数あることでその違いを楽しめたし、点在しているからこそてくてく散歩もできたので1番はつけづらいのですが、ほっとステーションの陶芸家の方や翠玉堂さんのようにすてきな感性をもっている若い人たちが、うまく蔵や古い町家を使いこなして楽しそうにしている姿が特に印象に残りました。

○人力車の初乗車: 目線が高くなって面白かったですし、乗せてくれた方がとても心遣いしてくれたので感激しました。

○保泉蔵の田舎教師の朗読: お琴と尺八に「田舎教師」の朗読が加わる企画は行田のほか、熊谷、羽生でも可能だと思いました。しかし、蔵のほの暗い雰囲気と、適度に涼しいのが心地よかったです。

○保泉蔵:

○洋館の町の公会堂:

○朽木さんの事務所:

4 行田のこれからのまちづくりはどのようにしていったらいいと思いますか。何でもいいですから提案ください。(自由記入)

○今のまま、普通の日常でいいのでは。十分足袋という歴史遺産を、蔵と技術のソフトとをバラ

ンスよくいかしている。そば、あいぞめ、オリジナル足袋がほしい着物愛好家、とコミュニティ(必ずしも住人である必要はないのかも)づくりもとても上手。身の丈にあったまちづくりを地元の人がたのしみながら行っている様子。古い蔵や洋館の修復に外観だけでも川越のように補助があるといいと思う。建物の説明ラベル、がとても効果的。イベントいがいの日にきても個人で楽しめる(F.M)。

○もっと良くなる。寺社巡りもあるとよい。ホームページの情報を充実してください。イサミさんはいつも丁寧に対応していただき、ありがたいが、もうひとつ引き出してほしい(W.A)。

○ボンネットバスで市を回って思ったのですが、行田ぐるり自転車の旅といった仕掛けなどもNPO等で企画されてはどうか？(I.Y)

○足袋蔵めぐりをきっかけにして、多くの人たちが街の歴史がもたらしたかけがえのない良さに着目し、これを活かすことを考えるようになれば、変わっていくだろう。また、昨年からはまったイベントと商店の連携は、中心街の魅力を高める上ですばらしい(本来あるべき)試みと思う(O.R)。

○蔵の開放はもっと頻繁にしてほしいです。とくに今津蔵は良かったです。ただ、今津蔵の開放は建物の維持も難しそうなので、まだまだ先になるのかなとも思いますが、足袋蔵ほっとステーションや大澤蔵をギャラリー「門」と同じ様にギャラリーとして開放することから始めてもいいのではないかと思います。

蔵を集客力あるものにするには、カフェやギャラリーなどにして、ターゲット層を狭めないことが必要になると思うので、大澤蔵の認知のために、バーにする前にギャラリーなどにして開放してほしいです。

ボンネットバスはとても行田に合うと感じました。行田市の観光の一番の問題点は、忍城、水城公園、蔵、さきたま古墳群、古代蓮の里、これらを1日に回ることが出来ない点です。それを解消するには、ボンネットバスのような行田の顔になる移動手段が必要です。行田の良さというのは足袋蔵だけでは伝えにくい(川越との差別化のために忍城周辺の自然も紹介したい)と私は思っています。蔵巡りの範囲を少し広げて市役所や忍城、水城公園も見てくださいたいです。特に水城公園には野生の鳥がたくさんいます。アヒルの親子を観ることもあります。暮らしの中に癒しのスポットがあるところも行田市のいいところです(S.S)。

○陶芸作家さんのギャラリーでは、蔵ならではの暗がり作品をより素敵にみせる雰囲気をつくっているなと感じました。空き蔵を利用してアーティストの個展会場に貸し出すのも良いのではないかと思います(K.A)。

○今回のような蔵めぐりの開催を月1回毎など、もっと開催されるといいと思いました。普段は見れないところが多いと聞いたので、開催が増えることで、街の人も蔵を身近に感じられるし、周りへの認知も広がると思います。また、ものづくり大学が近くにあるので、学生が街全体を使って、作品展とかしてもいいんじゃないかとも感じました(I.E)。

○毎年新しい蔵の生まれ変わりを見るのは楽しみです。街の人と会話する企画があるとずっと印象に残るかな・・・(S.R)

○蔵の活用はもちろん、「水と緑」もうまく活かしてゆけると、川越や栃木とはまた違った行田らしいまちづくりになるのではないのでしょうか。中心街では少ないのかもしれませんが、個人的に水路や小麦畑も印象的だったので(H.K)。

○スタンプラリーは来年も行田まで来たいなと思ったので続けて欲しいと思いました。(「スタンプラリー」という言葉は魅力的と思いました)団体でも個人でも楽しめるイベントだと思いました。(そうで無いと困ります)私の地元は商店街ですが、30年は続いている商店街イベントに殆ど行った事が有りません。それでも当日の商店街はかなり賑わっています。当日の新聞広告と、開催10日前位から電柱に小さい幟やチラシが至る所に貼ってあります(H.M)。

○NPOと地元商店街の連携にかかっていると思います。足袋蔵の魅力が市民に理解され、次々に活用の事例が繋がれば歩いて楽しい街になると思います。さらに城下町の痕跡もたどれると街の魅力が増すと思います(F.M)。

5 その他、今回のまち歩き企画についての感想(自由記入)

○行田は歩いて気持ちの良い街です。のんびりとゆっくりと街を楽しむことをしていきたい。牧野さんのお店も見せてほしい(W.A)。

○蔵を解放されている方々が、なれてきたのか、訪れた方々をうまくもてなしている。これも、ぎょうだ足袋蔵ネットワーク等の関係者の努力の賜物(I.Y)。

○昨年に引き続き、来て良かったです。少人数でしたが、途中で川越きもの散歩、織物市場の会の方々ともご一緒できて楽しかったです。また、朽木さん、中島さんには、お忙しいところ、議論におつきあいいただき、ありがとうございました。ぜひまた来たいですね！(O.R)

○とても楽しかったです。しかし、まだ市民には知られていないイベントだと感じました。中心部に住む住民だけでなく、もっと行田に住む人たちに知ってほしいです。足袋蔵から町おこしをしていくのはとてもいいと思います(S.S)。

○今回まち歩きをして、行田にはこんなに歴史的な建物が残っているのだなと驚きました。今まで、あまりまちの建物に興味を持って見るということが無かったのですが、今回ツアーに参加して、もっと良く周りを見てみようと思いました。また、佐々木さんが地元の良さを見つけて いるように、私ももっと地元について知り、良いところを見つけてみたいと思いました(K.A)。

○今回、行田という街を歩いてみて、いろいろな発見があり、楽しかったです。また、この蔵めぐりの企画には商店街の方たちも協力して、みんなで街を盛りあげようとしている姿勢が感じられてとても良いと思いました(I.E)。

○街中で洋服の方から「着物でお得があるの？」と聞かれお答えすると「来年は着物にしよう」と言う声を聞きました。PRはまだまだしても良いと思います(S.R)。

○tekutekuのみなさんと一緒には回れませんでした。天気にも恵まれ、歩きながら見たり食べたりと楽しい休日をすごせて良かったです。ゼリーフライは想像以上においしかったです(H.K)。

○個人的に色々しんどくて、でも行田には「行かなきゃ」から気持ちで参加しました。途中から「ここを先に回っていくと云々・・・」に変わっていったのでとても楽しい気分換になりました。「十万石饅頭」より「ハニワサブレ」の方が職場の総務部ではメジャーです(H.M)。

○それぞれの自由参加での企画としましたので各自思い思いに少数精鋭で歩いていただきました。おかげで NPO ぎょうだ足袋蔵ネットワークの朽木さん、中島さんにはじっくりお話を伺うことができました。感謝です。TEKUTEKU としも、毎年蔵めぐりに参加することで行田のまちづくりを定点観測できる楽しみができました。来年も楽しみです(コーディネーター:古里実)。